

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果

令和5年4月18日に横浜市立小学校6年生（約2万7千人）を対象に実施された全国学力・学習状況調査の各教科に関する結果と本校児童の意識に関する結果の概要をお知らせします。

【平均正答率（％）】

	国語	算数
荏田東第一小学校	69	67
横浜市	67	65
神奈川県	66	63
全国	67	63

※横浜市、神奈川県、全国の値は、公立学校の平均正答率です。

<各教科で見られた傾向>

【国語】

- 記述式の問題において、県や全国の平均より正答率が高い。  
（本校：74％、県：65％、全国：66％）
- 目的に応じた情報を見出したり、情報を関連付けながら解答したりする力が高い。（本校：75％、県：67％、全国：69％）
- 話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる力が高い。（本校：75％、県：66％、全国：70％）
- 記述の問題を中心に、無回答率が他の自治体を上回る設問が複数あった。  
（本校：8％、県：13％、全国：5％）

【算数】

- 基礎的な力が身に付いており、応用問題の正答率も、他の自治体より高い。  
（本校：67％、県：59％、全国：60％）
- 計算力が高い。（本校：71％、県：60％、全国：60％）
- 表を読み取り解答する問題においても、他の自治体より正答率が高い。  
（本校：73％、県：65％、全国：65％）
- 図形を活用した問題において、他の設問と比較すると相対的に正答率が低い。（本校：31％、県：23％、全国：21％）

<生活意識調査で見られた傾向>

【学習意識】

- 各教科の学習の意義を見出している児童や、意欲的に学習に取り組んでいる児童の割合が多い。（本校：80％、県：70％、全国：74％）
- 友達との伝え合いを通して、自身の考えを深めたり、伝え方を学んだりしている児童の割合が多い。（本校：84％、県：75％、全国：74％）
- 分からなかった点を見直し、次の学習に生かしている児童の割合が、他の自治体より若干少ない。（本校：75％、県：77％、全国：77％）

【生活習慣】

- 将来の夢や目標をもって生活している児童の割合が多い。  
（本校：64％、県：54％、全国：53％）
- 家庭学習の計画を自身で立てている児童の割合が多い。  
（本校：80％、県：69％、全国：71％）
- 学校生活が楽しいと感じている児童の割合が、他の自治体とほぼ同等。  
（本校：84％、県：85％、全国：85％）